

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

〈函館の子どもの特徴〉

- 各教科とも全国や全道との間に大きな差がなくなっているが、引き続き一層の努力が必要である。
- 授業の中で、1人1台端末を有効に活用することができている。
- いじめは許されないという意識が高い傾向にある。
- 学校の授業以外の学習時間が短く、自分で学び方を考え、工夫することに課題がある。

平均正答数・平均正答率

〈小学校〉

	国語	算数
函館市	9.2問／14問 66%	9.2問／16問 58%
全道	9.3問／14問 67%	9.7問／16問 61%
全国	9.5問／14問 67.7%	10.1問／16問 63.4%

〈中学校〉

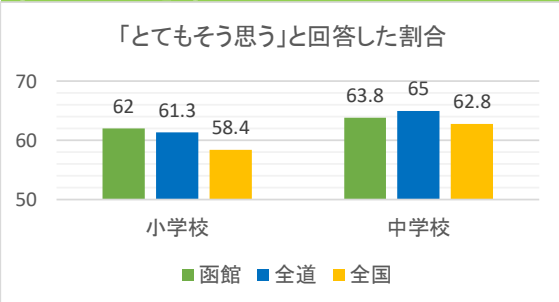
	国語	数学
函館市	8.1問／15問 54%	7.6問／16問 47%
全道	8.6問／15問 58%	8.2問／16問 51%
全国	8.7問／15問 58.1%	8.4問／16問 52.5%

- ※ 函館市、全道の平均正答率については、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を示しています。
(上段：平均正答数，下段：平均正答率)
- ※ 今後、本市の児童生徒の状況については、HPに追加して掲載してまいります。
- ※ 本市では、全国や全道の平均正答率と、本市の平均正答率に大きな差がなくなっていることから、令和3年度から「函館の子どもたちの特徴」を中心に公表しています。

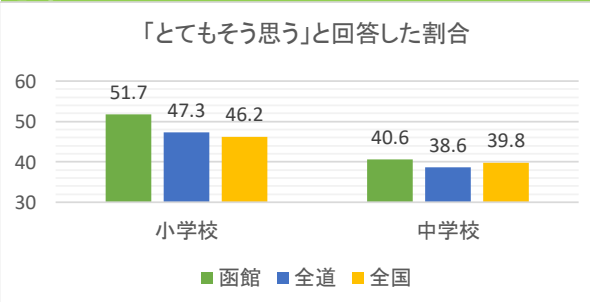
児童生徒質問調査の結果から見える成果

Q 5年生のとき(中：1, 2年生のとき)の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

分からないことがあった時に、すぐ調べることができる



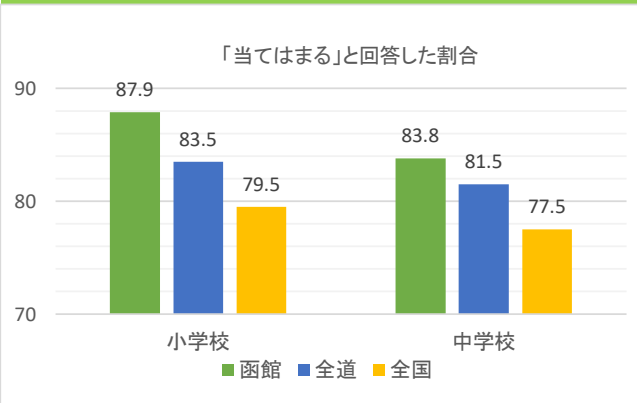
友達と協力しながら学習を進めることができる



授業でのICT機器の使用状況においても、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合が、小学校で37.6ポイント(全国比+12.3ポイント)、中学校で34.1ポイント(全国比+3.1ポイント)となっており、全国と比較して高い傾向にあります。

学校質問調査においても、児童生徒一人ひとりに配備されたICT機器を、授業で「ほぼ毎日」と回答している学校の割合が高い傾向です。

Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小学校で87.9ポイント、中学校で83.8ポイントと高い傾向にあります。

学校質問調査において、「特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている」と回答している学校の割合が高い傾向です。

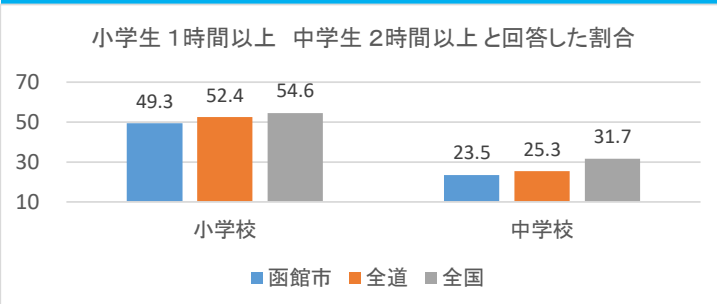
〈考察と今後に向けて〉

各学校が、授業で1人1台端末を効果的に活用し、児童生徒一人ひとりに寄り添った、きめ細かな学習指導をしていることや、いじめはどんな理由があっても許されないことであるという意識をもつ児童生徒が多いことが成果と考えられます。

今後は、児童生徒が、1人1台端末の一層の利活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業改善が推進されるよう、各学校に働きかけてまいります。また、引き続き「いじめ等の問題を考える集会」の取組等を通じて、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めてまいります。

児童生徒質問調査の結果から見える課題

Q 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

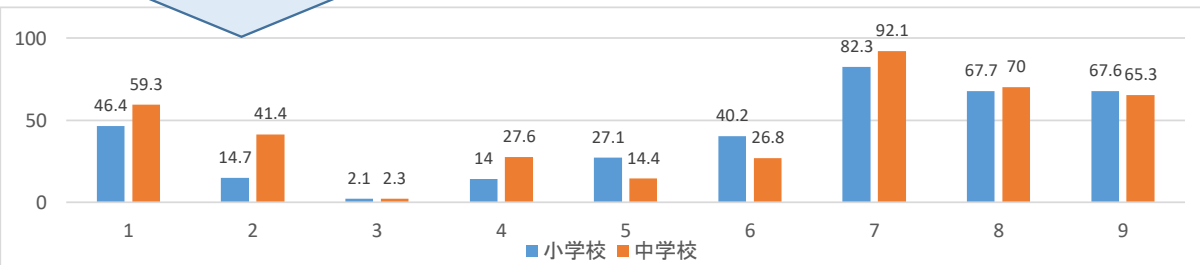


小学校で「1時間以上」と回答した児童の割合が49.3ポイント、中学校で「2時間以上」と回答した生徒の割合が23.5ポイントとなっており、全国と比較すると、低い傾向にあります。

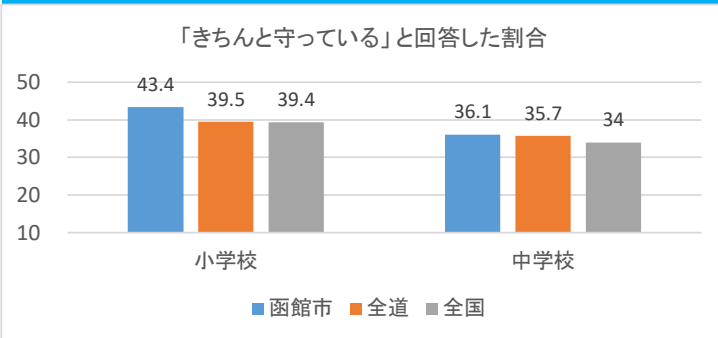
Q 放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか（複数回答）

- 1 家で勉強や読書をしている
- 2 放課後子供教室や放課後児童クラブに参加している
(中：学校の部活に参加している)
- 3 地域の活動に参加している
- 4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 5 習い事をしている
- 6 スポーツをしている
- 7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている
- 8 家族と過ごしている
- 9 友達と過ごしている

「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」と回答した児童生徒の割合が、小学校で82.3ポイント、中学校で92.1ポイントと高い傾向です。



Q 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



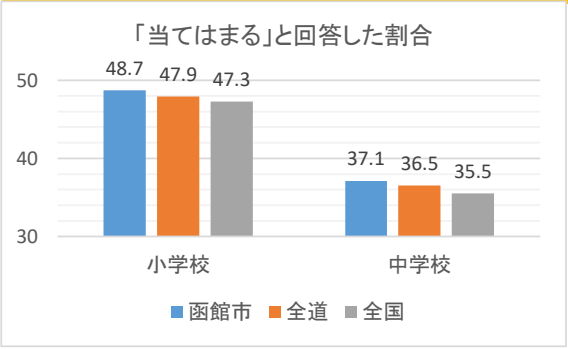
「きちんと守っている」と回答した児童生徒の割合が小学校で43.4ポイント、中学校で36.1ポイントとなっており、全国と比較すると、高い傾向にあります。

児童生徒質問調査の回答から、携帯電話・スマートフォンの使い方について、家の人との約束を守っていると回答している割合が多いにもかかわらず、家庭における学習以外でのICT機器の利用の割合が、全道・全国と比較して高い傾向にあることから、家庭でのルールの再確認が必要であると考えます。

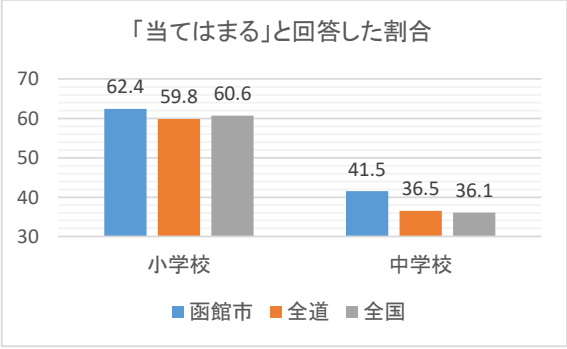
〈考察と今後に向けて〉
 家庭での学習時間において、全道・全国と差が見られることから、放課後の過ごし方に課題があると考えられます。
 今後は、1日の生活時間や放課後の過ごし方についての見直しを家庭に働きかけていくとともに、家庭での学習に、1人1台端末をより一層活用できるよう、効果的な端末の活用実践例を紹介するなどし、望ましい学習習慣の定着を図ってまいります。

その他の特徴

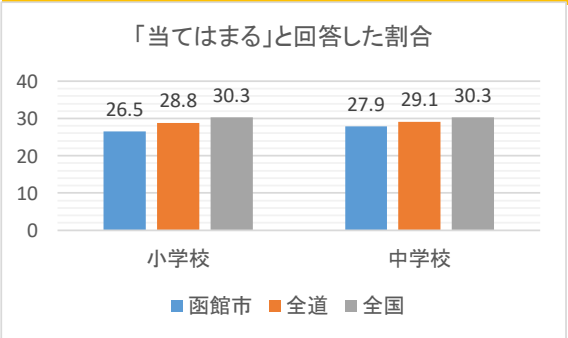
Q 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



Q 将来の夢や目標を持っていますか



Q 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



Q 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

